

令和05年度 第1回 石神井警察署協議会 議事概要

開催日時 令和05年06月13日 午後02時00分～午後03時30分

開催場所 石神井警察署 講堂  
出席者 協議会委員 9名  
署長ほか 3名

内 容

会議に先立ち、会長、副会長を互選した。  
また、交通課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 管内の治安情勢等について
  - (1) 交通関係  
本年5月末現在の人身事故発生件数は、昨年と比べて増加しており、交通死亡事故が2件発生している。
  - (2) 刑法犯及び指定重点犯罪の発生状況  
発生件数はいずれも増加しており、署の総力を挙げて検挙と抑止の両対策に取り組んでいく。
- 2 協議会からの意見要望の取組結果について
  - (1) 「高齢者等を交通事故から守るため交通安全教育などを行ってほしい」旨の要望について  
ア 管内所在の自動車教習所における高齢運転者安全教室  
イ 老人クラブ等への訪問型講習会  
ウ 駅やスーパー周辺における高齢者への反射材等の配布  
エ 免許の自主返納を促す、交通事故を惹起した70歳以上の高齢者宅への訪問等に取り組んでいる。
  - (2) 「自転車利用者のマナー向上やヘルメット着用促進のための広報啓発を行ってほしい。」旨の要望について  
ア 管内の区立中学校でのスクエアード・ストレイト方式の自転車交通安全教室  
イ 交通公園でのイベントにおける幅広い年齢層に対する広報
    - ・ ビーボ君による交通安全教室
    - ・ 親子参加型のクイズラリー
    - ・ 様々な市販のヘルメットとその効果を紹介
 等を実施し、交通ルールの遵守や自転車用ヘルメットの重要性を広報啓発した。
- 3 駐車監視員活動ガイドラインの見直しについて  
管内の交通事故発生状況や交通事情の変化等を踏まえ、現行のガイドラインを見直し、新たに策定した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容  
「夏季における各種防災訓練の推進について」  
7月から9月頃にかけて、局地的な大雨や台風の接近又は上陸に起因する崖崩れや家屋の浸水等の各種風水害が懸念される。  
また、同時期は学校の夏休み期間で、生徒・児童が、家族や友人等と海や川に出掛ける際に、水難事故に遭うケースが増えることから、
  - (1) 当署管内の風水害危険箇所の点検
  - (2) 区役所や町会との合同避難訓練
  - (3) 管内の学生を対象とした水難訓練
  - (4) 当署員の普通救命講習(東京消防庁)受講  
などの施策について警備課を中心に推進していく旨を説明し、意見等を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
  - (1) 管内のハザードマップを作成し、危険箇所、危険地域、避難所等を分かりやすく教示してほしい。
  - (2) 風水害が発生した場合はパトロールを強化し、地域住民に対して、被災者を出さないための注意喚起を行ってほしい。
  - (3) 学校、自治体、消防等とタイアップして、地域住民と合同の避難訓練や、避難所での一泊二日の宿泊訓練等を実施してほしい。

[その他の意見要望等]

- 1 通学時、子供たちが、押しボタン式信号のボタンを押した後、青信号になってから正しく横断しているのに、電動自転車を運転する保護者の信号無視が多い。  
子育て中の親世代に対する注意喚起の機会を増やしてほしい。
- 2 自転車で子供を保育園等に預けた後に、急いで職場へ向かうため、交通ルールを守らない保護者が多い。  
交通ルールの遵守は、個々人の意識に委ねられる面もあるので、警察に任せるだけでなく、まずは、自転車を利用する保護者に注意の声掛けをしていくのが、協議会委員の役目であると思う。
- 3 委員から「交通事故が発生した場所に『事故を見かけた方はご一報ください』との看板が立っていることがあるが、設置期間はどのくらいなのか。」との質問があり、「看板は、ひき逃げ事件があった場所等に設置し、被害者の意向を汲んで設置期間を決めている。」旨を説明した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和04年度 第4回 石神井警察署協議会 議事概要

開催日時 令和05年03月10日 午後03時30分～午後05時00分

開催場所 石神井警察署 講堂  
出席者 協議会委員 8名  
署長ほか 4名

内容

会議に先立ち、刑事組織犯罪対策課長、地域課長の出席について、各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 管内の治安情勢等について
  - (1) 交通関係について、本年2月末現在の人身事故発生件数は、昨年より増加しているが、交通死亡事故は発生していない旨説明した。
  - (2) 刑法犯の認知件数、指定重点犯罪の認知件数について説明し、侵入窃盗については昨年より増加しており、侵入窃盗犯人の検挙と対策が急務である旨説明した。
- 2 協議会からの意見要望の取組結果について
 

令和4年度第3回会議において出された、

  - (1) 「管内の被害状況や手口、検挙の状況等について説明してほしい。」旨の要望については、被害状況は、令和元年を除いて平成25年から減少傾向にあったが、令和4年に増加に転じ、その手口の半数以上が窓等の無締りであるところ、検挙の端緒として防犯カメラ捜査が大いに役立っている旨説明した。
  - (2) 「防犯上、効果的または必要な対策等について説明してほしい。」旨の要望については、窓等に補助錠や防犯フィルムを取り付けたりするほか、庭木等の手入れやセンサーライトの設置など、侵入窃盗に遭わないための環境を作ることが重要である旨説明した。
  - (3) 「侵入窃盗対策のパトロールや、情報発信活動等を積極的に行ってほしい。」旨の要望については、署内各課で情報共有して発生区域の重点パトロールを行ったり、メールけいしちょうにより被害情報の発信を行っている旨説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
 

自転車及び高齢者を中心とした重大交通事故防止対策について  
昨年、当署管内で発生した交通人身事故のうち、自転車が関与したものが約4割、高齢者が関与したものが約3割であることから、管内において悲惨な交通事故が発生しないよう、

  - (1) 自転車利用者に対するヘルメット着用努力義務化に伴う着用の促進
  - (2) 自転車利用者に対する重点的な指導警告及び取締りの徹底
  - (3) 高齢者及びその家族に対する交通安全教育の推進

などの施策を交通課を中心に推進していく旨を説明した上で、意見等を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
  - (1) 高齢者等を交通事故から守るために交通安全教室などの対策を行ってほしい。
  - (2) 自転車利用者のマナー向上やヘルメット着用促進のための広報啓発活動を行ってほしい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「防犯フィルムは、ガラスに貼ってあることが分かるだけでも有効であるとのことなので、一人暮らしの方々に勧めたい。」との意見があった。
- 2 委員から「泥棒に入られないように、警察や区役所に相談しながら色々な対策を講じて「自分は防犯対策をしている」というのが周囲に分かるような努力をしていきたい。」との意見があった。
- 3 委員から「リフォーム業者などを装って訪問してくる泥棒に対しては、どのように対処したら良いか。」と質問があり、安易に屋内に招くようなことは絶対にせず、相手が執拗であるなど不審と思ったら110番通報していただきたい旨説明した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和04年度 第3回 石神井警察署協議会 議事概要

開催日時 令和04年12月13日 午後01時30分～午後03時30分

開催場所 石神井警察署 講堂  
出席者 協議会委員 9名  
署長ほか 5名

内容

会議に先立ち副署長、地域課長、警備課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 管内の治安情勢等について
  - (1) 交通関係について、本年11月末現在の人身事故発生件数は昨年より減少しているが、10月に管内で交通死亡事故が3件発生した旨を説明した。
  - (2) 刑法犯の認知件数、指定重点犯罪の認知件数について説明し、特殊詐欺については、未届けの被害も多く、実質的には昨年以上の被害が発生しており、また、いわゆる「アポ電」などの不審電話も連日入電するなど、大変厳しい状況が続いている旨を説明した。
- 2 協議会からの意見要望の取組結果について  
令和4年度第2回会議において出された、
  - (1) 「職務質問について、どのような観点で実施しているのか等説明してほしい。」旨の要望については、当署における職務質問による検挙事例を紹介した。
  - (2) 「きめ細やかに管内の巡回連絡（実態把握活動）を行ってほしい。」旨の要望については、当署は世帯数が東京都内で5番目に多い地域ではあるが、適切に訪問していく。地域警察官が訪問した際は、忌憚のない意見を言っていただきたい旨を説明した。
  - (3) 「災害発生時の地域警察官の初動活動について説明してほしい。」旨の要望については、都内で大規模震災が発生した場合、地域警察官は、第一報として交番目前の被害状況を本署に報告後、第二報として交番担当区内を巡回して把握した被害状況を本署に報告する旨を説明した。
  - (4) 「子供の下校時等にパトロール等を強化してほしい。」旨の要望については、地域警察官が保護者や学童クラブ指導員等と協力して、通学路上の交通量の多い交差点や危険と思われる箇所における児童の見守り活動や、町会・自治会など地域住民との合同パトロールを今後も継続強化していく旨を説明した。
  - (5) 「交番の地域警察官が一定時間不在の場合、その交番の事案対応はどのように行っているかを説明してほしい。」旨の要望については、交番を不在にする場合は、交番の電話を直接本署の指令台と通話できるように設定し、来所した用件に応じて、パトカーや他の交番の地域警察官等が対応する旨を説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容  
侵入窃盗被害の現状と検挙対策の推進について  
当署の侵入窃盗の被害状況は、昨年中は22件と過去最少であったが、本年は11月末現在で29件となっており、昨年同期比で7件増加していることから、侵入盗犯人の検挙対策として、
  - (1) 鑑識活動や防犯カメラ捜査等を活用した初動捜査の徹底
  - (2) 本部主管課と連携した検挙対策の強化  
などの各種対策を刑事組織犯罪対策課を中心に強力に推進し、侵入盗犯人の検挙に努めていく旨を説明した上で、意見等を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
  - (1) 管内の被害状況や手口、検挙の状況等について説明してほしい。
  - (2) 防犯上、効果的または必要な対策等について説明してほしい。
  - (3) 侵入窃盗対策のパトロールや、情報発信活動等を積極的に行ってほしい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「地域密着型の警察官として、駐在所勤務員のほかに「ふれあいポリス」という警察官がいることを初めて知ったが、駐在所勤務員同様、今後も合同パトロールや各種イベントを通じて、広報啓発活動や地域住民とのパイプ役として活躍してほしい。」との要望があった。
- 2 委員から「10月に飲酒運転による交通死亡事故が発生したと説明があったが、飲

酒運転をさせないための対策は行っているのか。」と質問があり、今月、飲酒運転大根絶キャンペーンを実施したほか、管内の飲食店に車両で訪れている可能性のある者に対してお酒を提供しないよう注意を喚起するチラシを配布したり、交通課による深夜の飲酒検問を強化している旨を説明した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和04年度 第2回 石神井警察署協議会 議事概要

開催日時 令和04年09月13日 午後01時30分～午後03時30分

開催場所 石神井警察署 講堂  
出席者 協議会委員 6名  
署長ほか 3名

内容

会議に先立ち、生活安全課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 管内の治安情勢等について
  - (1) 交通関係について、本年8月末現在の人身事故発生件数は昨年同期より減少しているが、7月に管内で交通死亡事故が1件発生した旨を説明した。
  - (2) 刑法犯の認知件数、指定重点犯罪の認知件数について説明し、特殊詐欺については、いわゆる「アポ電」などの不審電話が連日入電するなど大変厳しい情勢が続いている旨を説明した。
- 2 協議会からの意見要望の取組結果について  
令和4年度第1回会議において出された、
  - (1) 「夏になると、区内の公園で若者が花火をしたり、蝟集して大声で騒ぐなど、非行の温床となるような事案が増えるので、巡回パトロール等を実施してほしい。」旨の要望については、生活安全課員と少年補導員が管内のゲームセンターにおいて少年補導活動を実施したり、地域警察官によるパトロールや少年補導活動を強化するなどした結果、8月は少年補導の件数が前年同時期と比較して増加した旨を説明した。
  - (2) 「管内各学校を対象とした防犯講話や、駅前など人通りが多い所で、警視庁防犯アプリ『デジポリス』の活用促進や各種パンフレットの配布など、防犯意識を高めるための広報啓発活動を実施してほしい。」旨の要望については、当署のスクールサポーターが管内各学校を巡回して非行防止教室を実施したほか、管内石神井公園駅ロータリーにおいてキャンペーンを実施し、「デジポリス」普及のためのチラシや当署作成の缶バッジ等を配布したり、デジポリスの痴漢撃退ツール機能を紹介するなど、駅利用者等に対して痴漢の撲滅等と呼び掛けた旨を説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容  
地域警察官の各種活動の推進について  
当署の職員の約4割が地域警察官、すなわち交番や駐在所、パトカーのお巡りさんであり、地域警察官は、事件事故が発生すれば、真っ先にその現場に向かって事案の対応に当たるが、そのほか、管内の安全・安心を確保するため、
  - (1) 職務質問や110番通報を端緒とした「各種犯罪の検挙」
  - (2) 各家庭や会社等を訪問し、面接して情報提供等を行う巡回連絡を通じた「実態把握活動」
  - (3) 犯罪等多発地域における警ら活動や悪質交通違反の取締りなど「事件・事故の防止」
  - (4) 町会等のパトロールや地域行事、各種会合等に参加する「地域安全活動」などを実施している旨を説明した上で、地域警察官の各種活動について意見等を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
  - (1) 職務質問について、どのような観点で実施しているのか等説明してほしい。
  - (2) きめ細やかに管内の巡回連絡（実態把握活動）を行ってほしい。
  - (3) 災害発生時の地域警察官の初動活動について説明してほしい。
  - (4) 子供の下校時等にパトロールを強化してほしい。
  - (5) 交番の地域警察官が一定時間不在の場合、その交番の事案対応はどのように行っているのかを説明してほしい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「石神井署と防犯協会で作ってくれた缶バッジは、痴漢抑止の良い注意喚起になると思うので、自分も電車に乗る時は付けようと思う。」との意見があった。
- 2 委員から「被害者にとって、性犯罪は心に深く傷が残るので、このようなことが起こらないように警察にはもっと注意喚起をしてほしいし、被害者の周りにいる人たち

が被害者に協力できるような社会を作っていかなければならないと思う。」との意見があった。

- 3 委員から「交通違反を取り締まるのも大事だが、交通安全や交通ルールを守るということについて、各地域などで話す機会を増やしていただきたい。」との要望があった。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和04年度 第1回 石神井警察署協議会 議事概要

開催日時 令和04年06月14日 午後01時30分～午後03時30分

開催場所 石神井警察署 講堂  
出席者 協議会委員 9名  
署長ほか 4名

内容

会議に先立ち、交通課長、警備課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 管内の治安情勢等について
  - (1) 交通関係について、本年5月末現在、人身事故発生件数は前年同日比で減少しており、交通死亡事故は発生していない旨を説明した。
  - (2) 刑法犯の認知件数、指定重点犯罪の認知件数について説明し、とりわけ特殊詐欺は未届けの被害など、実質的には昨年を上回る被害が発生しており、大変厳しい情勢が続いている旨を説明した。
- 2 協議会からの意見要望の取組結果について  
令和3年度第4回会議において出された、
  - (1) 「災害発生時に、警察ではどのような対応が可能なのか、装備資器材も含めて説明してほしい。」旨の要望については、当庁では、震度5強以上の地震が発生した場合、指定された警備要員が自主的に自所属へ参集した後、その中からレスキュー部隊を編成し、被害実態に応じた各種資器材を使用した救出救助活動や、道路上に滞留した方々の避難場所への誘導活動等を行う旨を説明した。
  - (2) 「災害発生時、警察はどのような治安維持活動を行うのか説明してほしい。」旨の要望については、交番勤務員のほか、本署員で編成した情報収集班により管内の被害実態を把握したり、緊急車両の通行等を確保するための大規模な交通規制を実施するほか、行方不明者の捜索、亡くなられた方の検視、被災住宅や避難所に対するパトロール活動等を行う旨を説明した。
  - (3) 「もし自分たちが被災した際、このような気持の様であってほしいとのアドバイスがほしい。」旨の要望については、第一に自分の身の安全を確保し、揺れが収まってから防災無線やラジオ等により避難情報等をよく確認すること、また、自治体から避難指示等があった際は、ためらわず早めに避難行動に移すことが非常に大切である旨を説明した。
- 3 取締り活動ガイドラインの見直し並びに取締管理計画及び速度取締計画の策定について  
管内の交通事故発生状況や交通事情の変化等を踏まえ、現行のガイドラインの見直しと取締管理計画及び速度取締計画の策定について説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容  
夏季における防犯対策と少年非行防止に向けた取組について  
夏は、女性を狙った痴漢や盗撮などのわいせつ被害の増加が懸念され、また、夏休みを利用して家族で長期間外出する機会も増えるため、窓や鍵の閉め忘れや留守中の家屋等を狙った侵入窃盗の増加、少年による家出事案や非行事案なども懸念されることから、
  - (1) 関係機関等との防犯キャンペーン等の推進
  - (2) 警視庁防犯アプリ「デジポリス」活用の呼び掛け
  - (3) 管内各学校に対する防犯講話の推進
  - (4) 専務員や地域警察官による少年補導活動の徹底
 などの施策を推進していく旨を説明した上で意見等を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
  - (1) 夏になると、区内の公園で若者が花火をしたり、蟻集して大声で騒ぐなど、非行の温床となるような事案が増えるので、警察と住民が一体となった巡回パトロールを実施してほしい。
  - (2) 署長から説明があったように、管内各学校を対象とした防犯講話や、駅前など人通りが多い所で、無料防犯アプリ「デジポリス」の活用促進や各種パンフレットの配布など、防犯意識を高めるための広報啓発活動を実施してほしい。



[その他の意見要望等]

- 1 委員から「今回、災害に対する心構えなどについて懇切丁寧に教えてもらったので、日頃から町会、自治会の皆さんなどお互い助け合うことができる関係を構築しておき、私たちもできることは協力していきたい。」との意見があった。
- 2 委員から「交通事故に関して、我々が交通ルールを遵守すれば交通事故も起きにくいだろうし、警察の仕事も減ると思うので、車に乗る人も自転車に乗る人も交通事故にはお互い注意していかなければいけない。」との意見があった。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和03年度 第4回 石神井警察署協議会 議事概要

開催日時 令和04年03月08日 午後01時30分～午後03時10分

開催場所	石神井警察署 講堂	出席者	協議会委員 8名 署長ほか 3名
------	-----------	-----	---------------------

内 容

会議に先立ち、交通課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 管内の治安情勢等について
  - (1) 交通関係について、本年2月末現在の人身事故発生件数は去年同期と比較すると減少しており、交通死亡事故は発生していない旨説明した。
  - (2) 刑法犯の発生件数、検挙件数について説明し、指定重点犯罪については、とりわけ特殊詐欺の被害が減少しているが、連日、いわゆる「アポ電」がかかっており、予断を許さない情勢である旨説明した。
- 2 協議会からの意見要望の取組結果について  
令和3年度第3回会議において出された、
  - (1) 「大人や子供の分け隔てなく交通安全教室を実施していただき、交通安全啓発活動をより充実させてほしい。」旨の要望については、昨年、管内の公園において実施した親子で学ぶ自転車教室について紹介し、ピーボくんから交通ルールやマナーについての指導や、親子でクイズラリーに挑戦してもらうなど、家族で交通安全の意識を高めることができた旨説明した。
  - (2) 「事故の起こりやすい時間帯、場所などに警察官を配置するなど、姿が見える街頭活動を実施していただきたい。」旨の要望については、管内の交通事故多発路線である青梅街道の全8か所の交差点において同一時間に一斉街頭配置を実施した。また、交通課員が、自転車に乗車して安全運転を呼び掛けるパレードや、制服警察官が注意喚起のメッセージパネルを持ってドライバーに安全運転を呼び掛けた旨を説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容  
災害警備対策等の推進について  
未曾有の被害となった東日本大震災から11年が経過し、首都直下地震は、「30年以内に70%の確率で発生する」と言われている中、首都直下地震やその他の大規模災害に備え、
  - (1) 練馬区役所、消防等関係機関との合同による災害対処訓練
  - (2) 町会や学校等における避難訓練や防災講話
  - (3) 署員に対する災害現場を想定した各種教養・訓練などを実施している旨を説明した上で、意見を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
  - (1) 災害発生時に、警察ではどのような対応が可能なのか、装備資機材も含めて説明してほしい。
  - (2) 災害発生時、警察はどのような治安維持活動を行うのか説明してほしい。
  - (3) もし自分たちが被災した際、このような気もち様であってほしいとのアドバイスがほしい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「自転車専用通行帯に車両を駐車されると自転車が通れなくなるので取締りをしてほしいが、駐車取締はしないのか。」との意見があり、交通課長から「通行の邪魔、妨害になるのであれば、110番通報していただければ、すぐに対応させていただきます。」旨を説明した。
- 2 委員から「親御さんの自転車の乗り方がすごく気になっていて、もう少し警察や民間の方が、朝や夕方に危険な場所や交差点で取り締まっていたらと感じている。」旨の意見があった。
- 3 委員から「コロナ禍の中、様々な交通事故防止対策をやっていただいて大変素晴らしいと思う。」との発言があった。

その他	

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和03年度 第3回 石神井警察署協議会 議事概要

開催日時 令和03年12月17日 午後00時30分～午後02時30分

開催場所	石神井警察署 講堂	出席者	協議会委員 7名 署長ほか 4名
------	-----------	-----	---------------------

内容

会議に先立ち、交通課長、生活安全課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 管内の治安情勢等について  
現在の指定重点犯罪の情勢について説明し、特殊詐欺犯人やひったくり、侵入窃盗犯、強盗や性犯罪犯人などの犯人を検挙し、一定の成果を上げることができた旨を説明した。  
また、交通関係について、人身事故発生件数・負傷者とも昨年より減少しているが、高齢者と小学生の自転車が発した事故による怪我が目立っている旨を説明した。
- 2 協議会からの意見要望の取組結果について  
令和3年度第2回会議において出された、
  - (1) 「通学路に可搬式オービスを設置して速度違反の取締りを行うなど、抑止の力を発揮していただきたい。また、グリーンベルトだけでなく、車線分離標(ポストコーン)の設置を促していただきたい。」旨の要望については、スクールゾーンをスピードを出して走り抜ける違反者の取締りのため、可搬式のオービスを設置した取締りを行った旨を説明した。また、警察、区役所、学校、PTAによる通学路点検を行い、ポストコーンやグリーンベルトを設置した旨を説明した。
  - (2) 「歩行者の安全確保のための交通安全教育を実施していただきたい。」旨の要望については、小さな子供達に紙芝居を利用した安全教育を行った旨や、スタントマンによる事故の再現を見もらうなどの交通安全教室を開いた旨を説明した。
  - (3) 「凶悪な犯罪等が発生した場合に、子供の保護者だけでなく幼稚園や保育園にも連絡が迅速に伝わるようなネットワークを構築していただきたい。」旨の要望については、犯人の逃走や不審者の出没などを把握した場合は、メールけいしちょうで広く配信したり、電話で練馬区へ情報を提供し、区を介して、幼稚園などへ情報を提供している。いち早く情報を提供しなければならない場合は、区を介さず、直接に電話連絡を行っている旨を説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容  
重大交通事故防止対策について  
これ以上、管内において悲惨な交通事故が発生しないよう、交通課を中心に、
  - (1) 交通安全教育や保護誘導活動の推進
  - (2) 悪質、危険、迷惑性の高い交通違反取締りの徹底
  - (3) 自転車利用者に対する指導取締りの徹底
  - (4) 飲酒運転等悪質運転根絶対策の推進
 などの施策を強化していく旨を説明した上で、重大交通事故防止対策に向けた取組のあり方などについて意見等を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
  - (1) 大人や子供の分け隔てなく交通安全教室を実施していただき、交通安全啓発活動をより充実させてほしい。
  - (2) 事故の起こりやすい時間帯、場所などに警察官を配置するなど、姿が見える街頭活動を実施していただきたい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「学童保育の子供達は、暗い中を帰るので、反射材を靴やランドセルに付けたほうが良いと思う。検討していただきたい。」との要望があり、交通課長から、「警察署に来ていただければ、無償で提供する。」旨を説明した。
- 2 委員から「外国製の電動自転車はスピード出過ぎる。ある程度の規制をかけた方がいいのではないか。」旨の意見があった。
- 3 委員から「カーブミラーの設置位置が高く、子供の目線では見づらい。」旨の意見があった。

4 委員から「街角に立つ警察官を見ると、運転を気を付けなければいけないと思い、身が引き締まる思いがする。警察官の姿は、本当に効果があると思う。」との意見があった。

その他

令和03年度 第2回 石神井警察署協議会 議事概要

開催日時 令和03年10月15日 午後01時35分～午後03時10分

開催場所 石神井警察署 講堂  
出席者 協議会委員 9名  
署長ほか 3名

内容

会議に先立ち、刑事組織犯罪対策課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 管内の治安情勢等について  
本年10月10日現在の「交通人身事故の発生状況と交通事故対策」、「刑法犯の発生件数・検挙件数と検挙対策」、「指定重点犯罪の発生件数・検挙件数と抑止対策」について説明した。
- 2 協議会からの意見要望の取組結果について  
令和3年度第1回会議において出された、
  - (1) 「行政や町会等に働き掛け、通学路や公園等に防犯カメラを設置していただきたい。」との要望について、「練馬区や町会に対し、日頃から、防犯カメラの設置や増設について働き掛けをしており、今年度末までに、管内の二つの町会が練馬区に防犯カメラの設置申請を行い、計10台が設置される予定である。今後も、練馬区等と連携し、通学路の安全確保等のため、防犯カメラの設置促進に努めたい。」旨について説明した。
  - (2) 「個人が防犯カメラを設置する際、行政側から個人情報等の保護等についてしっかり説明していただきたい。」との要望について、「犯罪捜査等、各種警察活動を通じて、防犯カメラの管理者等に対して、防犯カメラ映像データをSNS等のインターネット環境下で取り扱うことや、むやみに他人に閲覧させたり、データ操作をさせるなどの行為は絶対に行わず、データの保管管理を徹底するよう指導している。」旨について説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容  
通学路における子供の安全確保のための諸対策の推進について  
登下校時の子供が被害者となる事件や事故が発生していることから、通学路等における子供の安全確保に向けた警戒を強化するだけでなく、地域社会全体で子供を見守る機運を醸成するため、
  - (1) 登下校時間帯における警察官による警戒・パトロール及び交通違反に対する指導取締り
  - (2) 教育委員会、学校、放課後児童クラブ等の関係機関・団体等との連携
  - (3) 管内の実態に合わせて、重点的に配置員に従事させる等の交通街頭活動の強化
  - (4) 子供をはじめとする歩行者の安全確保のための交通安全教育の推進などの施策について説明した上で、意見を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
  - (1) 通学路に可搬式オービスを設置して速度違反の取締りを行うなど、抑止の力を発揮していただきたい。また、グリーンベルトだけでなく、車線分離標（ポールコーン）の設置を促していただきたい。
  - (2) 歩行者の安全確保のための交通安全教育を実施していただきたい。
  - (3) 凶悪な犯罪等が発生した場合に、子供の保護者だけでなく幼稚園や保育園にも連絡が迅速に伝わるようなネットワークを構築していただきたい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から、「防犯カメラの設置場所を正確に把握するためには、届出の義務が必要ではないか。」との意見があった。
- 2 委員から、「防犯カメラの活用により、検挙率は上がっているのか。」と質問があり、刑事組織犯罪対策課長から、「犯人が早く捕まるようになり、スピード感はアップした。」と説明した。
- 3 委員から、「防犯カメラの設置に適した場所等が分からないが、どこに相談したらいいか。」と質問があり、署長から、「生活安全課に連絡をいただければ、最も適し

た場所、機種等をご指導します。」と説明した。

その他